

主の昇天

第一朗読 使徒言行録 1・1-11

第二朗読 エフェソ 1・17-23

福音朗読 マタイ 28・16-20

2023.5.21 9:30 ミサ
カトリック高円寺教会
主任司祭 高木健次神父

キリスト教の信仰の内容を簡単に言い表せば、次のように言うことができるのではないかと思います。それは、イエス様に出会った最初の弟子たちは特に、そのイエス様の復活を体験して人生が、そしてその人そのものが完全に変わられました。その同じ体験を時間や空間を超えてわたしたちもするように招かれています。このように言えるのではないかと思います。

そして、最初の弟子たちが体験したイエス様との出会い、それをわたしたちも体験することができるということを、今日お祝いしている「主の昇天」の祭日と来週お祝いする「聖霊降臨」の祭日の二つが併せてその内容をわたしたちに思い起こさせてくれると言って良いのではないかと思います。

今日の「主の昇天」でわたしたちがお祝いしているのは、イエス様が天にお昇りになった、それは空間的に上に行ったということではなく、時間と空間を超える存在となられました、ということです。だから、最初の弟子たちだけでなく、わたしたちもイエス様に出会うことができる。そして、来週は、その出会い方というのは、人間と人間が普通に出会うような肉体を通してではなく、一人ひとりの心の中に聖霊を通してイエス様が留まってくださる、そのことによって可能になる、ということが来週特に記念されることだと言えます。

イエス様に出会った弟子たちがどのように変えられたのかということについては、今日の特に第一朗読の中で読まれましたイエス様と弟子たちの会話（使徒言行録 1・6-8）の中に示されていると言って良いのではないかと思います。弟子たちはイエス様に対して「主よ、イスラエルのために国を建て直してくださるのは、この時ですか」と尋ねました。その質問に対してイエス様が「父がご自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。あなた方の上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムば

かりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」というお答えをされたわけです。

簡単に言うならば、弟子たちはイエス様が、また神様がいつ何をしてくれるのですかっていうことにずうっと関心があった。それに対して、弟子たちに対するイエス様の答えは、「あなたたちは神様がいつ何をするのかを点検する、そういう立場ではない。そこに呼ばれているのではない。むしろ、神様と共にあなたたち自身が働く者になる、そういうように呼ばれているのですよ」、そういう意味に受け取ることができると思います。

これが、使徒言行録によれば天に昇られる前のイエス様の弟子たちに対する最後の教えだ、ということは、イエス様が弟子たちに伝えたかったことのまとめであると言っても良いわけです。神様がいつ何をしてくれるのかなあ、と待ち望むというか、期待する、あるいは点検するという立場から、神と共に働く者へ招かれている、というイエス様の教えであって、そして、聖霊の助けの中でそのように弟子たちが変えられていきましたというのが来週の内容になっていきます。

わたしたちはどうでしょうか。神様が何をしてくれる、何をしてくれない、いつになったらとか、そういう点検する、その立場に留まっているということはないでしょうか。多いのではないかと思います。でもその時に、何に呼ばれたのか、神様に対して「いつですか、何ですか」と問い続けるだけではなくて、「共に、今この時に、わたしは何をしたら良いのですか」という質問を持つ、あるいはそれを問うように招かれているということを思い出したいと思います。

それは、神様に対して点検するだけではなくて、いろんな周りの出来事や周りの人にばかり期待するということから、自分の人生を、与えられたその状況を神様と共に自分のものとして生きていくという変化と言っても良いと思います。そのようにして、本当の意味での自由、それを洗礼式の時には「神の子の自由」というふうに教会は表現しますけれども、その自由を生きるように、わたしたちは信仰を通してイエス様に呼ばれているということを思い起こしたいと思います。

でも、その招きをいつも忘れがちなわたしたちは、教会の典礼を通して大切なことを思い起こしながら、一人ひとりの心の最も深いところにいらっしゃるイエス様と絶えず出会い直し、そして「今ここで、このわたしはあなたと共に何をしたら良いですか。教えてください。そしてあなたと共にそれをすることができるようになってください」と祈りたいと思います。

時代と空間を超えて、場所を超えて時代を超えてわたしたちと出会おうとされる、そのイエス様のみこころに信頼して、一人ひとりが絶えず、「世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ 28・20) と約束してくださったイエス様ともっともっと深くそして強く出会って繋がっていくことができますように、このごミサの中で共にその恵みをお互いのために祈り合いたいと思います。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>